

■村上市総合計画第 6 回審議会 ワークショップで出された主なご意見

(1) 村上市の魅力・課題と将来の魅力向上・解決策

とき：平成 28 年 2 月 18 日(木) 14:00~16:45 / ところ：村上市役所神林支所 3階 大会議室

項目	現 状		将 来	
	魅力・活力	課題・障がい	向上・連携策 / 解決・打開策	
環境	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ●自然（海・山・川）が豊かで景観が優れている ●固有種が多く、大切な地域である 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然の保全・保護が足りない ●市の素晴らしい自然環境を生かし切れていない ●グリーンツーリズムの受け入れ体制の不備 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然保護に対する市民の意識向上を図る ●交流を伴った保全活動の実施 ●地域連携による魅力向上（点から線へ） ●森林公園をつくり、観光に役立てたい ●この地でしかできない教育活動や観察会の提供
	農林業	<ul style="list-style-type: none"> ●水稲の生育・生産に適した農地と環境 ●森林面積が広く、豊富にある 	<ul style="list-style-type: none"> ●農業経営基盤の拡大が困難で、不耕作農地が拡大 ●猿・熊等の鳥獣被害もある ●林業・木材産業の低迷（他県と比較した場合） ●後継者不足 	<ul style="list-style-type: none"> ●農業の 6 次産業化 ●農林水産物の加工品の海外輸出 ●地球温暖化対策の 1 つであるカーボン・オフセット制度を活用した林業の振興 ●木育・林業教育の強化と情報発信
産業	漁業	<ul style="list-style-type: none"> ●港が整備されている ●漁業を始める若者（担い手）が増えている 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●港イベントへの商工等会の協力
	雇用	—	<ul style="list-style-type: none"> ●人材不足 ●魅力ある職場不足 ●企業誘致等の土地不足 	<ul style="list-style-type: none"> ●働きやすい・働きがいがある職場づくりに向けた、企業に対する行政の支援
観光	地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ●食文化や地域資源がたくさんある ●各地域に観光拠点がある 	<ul style="list-style-type: none"> ●「村上」としてのブランド力・情報発信力が弱い ●特産品は量が少ないため、コネクトする組織が欲しい ●コミュニティがカタチにならない（観光に向けた商品化） 	<ul style="list-style-type: none"> ●道の駅「朝日」を情報発信の拠点にする ●外部の視点、若い人材など分野をこえた意見交換の場をつくる ●集落の行事等で地域と交流できる観光メニューの確立 ●「観光地経営」の視点に立って、観光地域づくり・人材の育成を行い、観光と地域資源を合わせてマゼット・情報発信できる組織（日本版 DMO）を設立する
	観光連携	<ul style="list-style-type: none"> ●町人文化の伸展 	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●町屋の空き地をポケットパークに活用 ●村上大祭の世界遺産指定への行動 ●インバウンドに対応したサービスの向上
交通	インフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> ●日沿道の延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光資源の有機的な連携不足 ●地域間道路（市道、県道等）の整備遅れ（特に北部地区） ●高速道未開通区間の信号機がない場所では車のスピードが出やすく、死亡事故が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ●市道の道路改良（高速道延伸を生かせる地域づくり）アクセス、バイパスの充実 ●信号機の早期設置
	公共交通	—	<ul style="list-style-type: none"> ●交通が不便 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の整備 ●地域の活動と連携した公共交通の充実
暮らし	スクールバス	<ul style="list-style-type: none"> ●安心安全 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが歩かない 	<ul style="list-style-type: none"> ●全員が乗る必要性の見直し ●校庭内を歩けるように地域や PTA が除雪
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ●暮らしやすいという意見の人が多い ●災害が少なく、のんびりしている 	<ul style="list-style-type: none"> ●異常気象により大災害がいつ、どこで発生しかねない状況 ●水防力が低下 ●過疎地の雪対策（除雪、雪下ろし） 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災教育の充実 ●防災体制の充実
暮らし	子育て	<ul style="list-style-type: none"> ●自然が豊富で、子育てには良好な土地柄 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援が不足 ●子どもの遊び場が少ない ●若い人材の意見を聞く場、話し合いの場がない ●女性の意見が反映されていない ●親の意識にジェネレーションギャップがある 	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家や空きスペースを有効に活用した遊び場や女性の集う場の提供 ●若い親の意見を吸い上げる機会の充実
	地域・学校	<ul style="list-style-type: none"> ●学校と地域の連携がうまくいっている ●子どもたちの地域学習が活発になってきている 	<ul style="list-style-type: none"> ●行事への参加意識が少なく、祭・イベントは担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校・家庭・地域が連携して子（地域の担い手）を育てる郷育活動の充実 ●新潟リハ大と今後様々な分野（医療福祉以外にも）で連携する
暮らし	居住環境	<ul style="list-style-type: none"> ●人情にあふれ、地区内でのつながりが強い ●参画意識が高く、市民の自主的活動支援がある ●人材が豊富に存在している ●地域ごとにバラエティに富んだ特色がある 	<ul style="list-style-type: none"> ●担い手不足（産業・文化、自治などすべてにおいて） ●自分たちだけ良ければという地域の囲い込み意識がある ●郊外では地域ごとの一体感が感じられない ●若者が住みやすい、学習しやすい生活環境、働く場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の人材を積極的に活用し、地域間のつながりを深める ●まちづくり協議会の活動の充実（村上市全体で何かをやりたい） ●地区や集落間の交流や連携を行い、地域の一体感や地域の良さを意識できないか ●住みやすさについて認識度のアップを図る ●まちづくり活動などで参加者に出番をつくる
	教育・少子化対策	<ul style="list-style-type: none"> ●1 クラス少人数で目が行き届く。出番が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ●1 クラス少人数で競争がない ●老朽遊具が撤去され、外での遊び場が少ない ●子どもの数が減り、家に閉じこもりがち 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校の早期統合（保育園 2 園、小学校 5 校、中学校 2 校） ●学童保育の充実・拡大（放課後を利用して、外で遊べる機会・場所をつくる）
教育・運動	運動	<ul style="list-style-type: none"> ●総合型スポーツクラブの事業展開（多分野） ●活動する場所（空間）を選べる 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校内活動や校外活動の停滞（部活等でやりたいことが出来ない） 	<ul style="list-style-type: none"> ●部活動の考え方、システムの改善 ●スポーツイベントの開催で交流人口を拡大

項目	現 状		将 来 (目標年度)
	魅力・活力	課題・障がい	向上・連携策 / 解決・打開策
医療福祉 地域医療	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域の茶の間」等における介護予防教室の継続や機会の提供が充実している ●新潟リハ大、看護医療専門学校の人材を活用した介護予防、高齢者の日常生活機能の向上が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の増加による介護福祉サービスの不足 ●買い物弱者の増加が危惧される ●医療体制の整備が遅れている ●医師不足 	<ul style="list-style-type: none"> ●集落の支え合いづくり ●特別養護老人ホームの待機者解消に向けた施設の充実 ●開業医と病院との地域治療策 

(2) 村上市の基本目標づくり (どんなまちにしたいか)

1 班 (総務・文教部会)		2 班 (市民・厚生部会)	3 班 (経済・建設部会)
防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> ●だれもが安全で安心して暮らせるまち ●豊かな自然の中で心豊かな生活をすごせるまち ●支え愛 認め愛 ふれ愛 のまち 	<p>キーワードは</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人と人、支え合い ●誇り、語り継がれる ●つなぐ (生業をつなぐ、次世代に継ぐ) ●住みたい、行きたい、 ●知る (情報)・つなぐ (交流)・つぐ (担い手) <p>⇒大ごつつおがあふれるまち</p> 	<p>キーワードは</p> <p>「母なる村上市」と「やすらぎ」、 「つなぐ」と「結ぶ」、 「物語があるまち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広大な土地と清流、日本海の「母なる村上」を背景に、 ●さまざまな地域、産業、人が「つながり」、交流し、 ●市民や訪れる人が村上を舞台にそれぞれの「物語」をつくる… 
教育・運動	<ul style="list-style-type: none"> ●元気な子どもを育てる ●生きがい創生 ●企業が進出したいと思える人材づくり 		
まちづくり ・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に自信と誇りの持てるまち ●高齢者の生きがいづくり ●祭と魅力あるまち 		
観光・仕事	<ul style="list-style-type: none"> ●村上を「県北」から「ゲートウェイ」へ! ●人・モノ・情報の結節点、先進技術の発信できるまち ●若者が働きたい、住みたいまち 		
全 体	<ul style="list-style-type: none"> ●『居場所』と『出番』のあるまち～子どもから高齢者まで～(居場所→参加する・楽しめる場所、出番→活躍できる・やりがいのある場所) ●そだつ (ヒト、チイキ・マチ、サンギョウ) 		

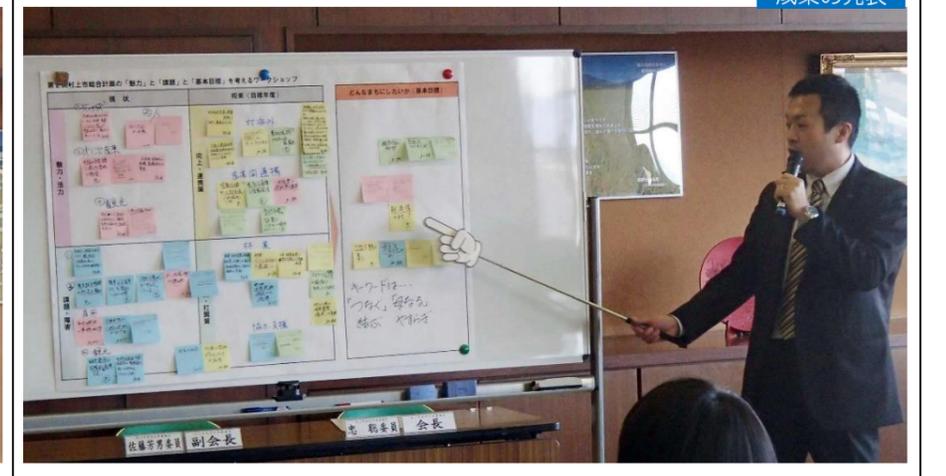
成果の発表



成果の発表



会場全体



会場全体

成果の発表

■ふりかえりシートのご意見紹介

<村上の総合計画で一番大事だと思うこと>	<計画づくりに関するご意見>	<基本目標の補足>
<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信（内外共）もテーマのひとつ。 ●個々の資源のブランド力強化だけでなく、「村上」そのものをブランド化して情報発信していくことが必要。 ●広域市において最も重要なことは「視点」。市全体が一つになるべく、大所高所に立った物の見方。一方で、広域市だからこそ求められる小さな視点、点在する集落、地域の集合体故、実情にそったケアが必要。 ●現在あるものを活かす人的、物的、伝統（歴史的）財産の活用と保全。 ●子どもを育てる前に親が学びたいと思える環境づくりが必要。 ●どの分野においても誰もが「居場所」と「出番」があること。 ●中・高の段階で村上に暮らすこと、働くことの意義を学ぶこと。 ●学校を卒業して安心して地元で働く場所をつくる。 ●人と人との和（思いやる心）、地域、地域の考え。 ●協働で生みだされる力の大切さを伝える行動。 	<ul style="list-style-type: none"> ●村上市の将来のあるべき姿を描くときは、それぞれの地域の特性を生かした施策を盛り込んでほしい。 ●理想（夢）と目標（現実的）をはっきりさせていくことが重要。 ●おしゃべり cafe など中高生ワークショップの機会があれば面白い。 ●きめ細かな行政運営、最後まで血の通った担当者の教育・指導をお願いしたい。 ●市民からの要望・意見等々及び改善策などを人口減少緩和や地域活性化にどう具体的に活用していくのが課題。 ●本来なら理念が先行し、理念実現のための手法や政策を協議するのが本質であると思う。 ●村上に住まずに遠距離通勤をしている私が、村上に住みたいと思うようなすばらしい計画になることを望む。 ●実現可能な計画を速やかに進められる体制作りが大事だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●住みやすい、住みたいまち ●自然豊かな町で、定住して喜ぶ地域づくり ●子育てや子どもたちが楽しく遊び育っていくまち ●人材→人財となれるようなまち <p style="text-align: center;"><感想等></p> <ul style="list-style-type: none"> ●村上の住みやすさがあまり評価されていないように感じている。誇りの持てる地域であることに間違いはない。 ●地域全体の一体感がほしい。豊富な資源がありながら、つながっていないのが残念。 ●様々な資源を活かし、つなげていくことの大切さを改めて感じました。 ●市民一人ひとりが住み良いまち、希望・将来のあるまちになる様に努力が必要と思います。